

【復興道路】一般国道106号宮古西道路 （仮称）松山トンネル築造工事安全祈願祭を開催！

～ 本格復興推進年！宮古西道路で初めてとなるトンネル工事に着工！ ～

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

平成26年7月31日、県が「復興道路」として宮古市松山～宮古市根市間で整備を進めている宮古盛岡横断道路（一般国道106号）宮古西道路において、工事の受注者主催により（仮称）松山トンネル築造工事安全祈願祭が開催されました。安全祈願祭には、県、宮古市、地権者、工事関係者等約60名が出席し、工事期間中の安全と早期完成を祈念しました。

宮古西道路は、これまで道路改良工事や橋梁工事を進めて来ましたが、今般、**県事業区間で初めてとなるトンネル工事の着工**となります。（仮称）松山トンネルは、トンネル上部に確認されている**松山館跡を保全するためにトンネル工法を採用**した延長73.0mの短いトンネルですが、地山の地質状況が悪くトンネル全線で補助工法が必要となるなど、**工事には高度な技術を要します**。

県では、今年を「**本格復興推進年**」と位置付け、復興を強力に推し進めており、（仮称）松山トンネル築造工事は、効率的な施工管理や工程管理、入札不調対策等に配慮して、**トンネル工に広範囲の道路改良工を含めた大規模ロットで工事発注**を行っています。今後とも、安全には万全を期し、受注者とともに**早期完成に向けて工事を推進**して行きます。

安全祈願祭の様況



沿岸広域振興局長 桐田副局長の挨拶



関係者による献入れ



【宮古西道路の事業概要】

県では、東日本大震災津波復興計画に基づき、三陸沿岸地域の復興と安全・安心を確保するため、災害時等における確実な緊急輸送や代替機能を確保するとともに、水産業等の復興を支援する災害に強く**信頼性の高い道路ネットワークを構築**することを目的として、**三陸復興道路整備事業**を実施しています。

宮古西道路は、宮古盛岡横断道路（一般国道106号）の一部として、三陸復興道路整備事業の「復興道路」に位置付けられており、**国と連携して県が整備**を進めています。

- (1) 計画延長：3.6km
- (2) 計画幅員：一般部 7.0 (13.5) m、橋梁・トンネル部 7.0 (12.0) m
- (3) 事業期間：平成 15 年度～平成 30 年度
- (4) 全体事業費：13,000 百万円（平成 25 年度末までの進捗率約 44%）
- (5) 主要構造物：トンネル 2 箇所、橋梁 2 橋

【（仮称）松山トンネル築造工事の概要】

- (1) 工事名：一般国道 106 号宮古西道路（仮称）松山トンネル築造工事
- (2) 工 期：平成 26 年 3 月 6 日～平成 27 年 3 月 2 日
- (3) 請負額：929,769,840 円（第 1 回変更）
- (4) 受注者：村本建設(株)・熊谷建設(株)特定共同企業体
- (5) 概 要：施工延長 566.4m、トンネル工 (NATM) 73m、道路改良工 493.4m 等

宮古西道路の事業概要

